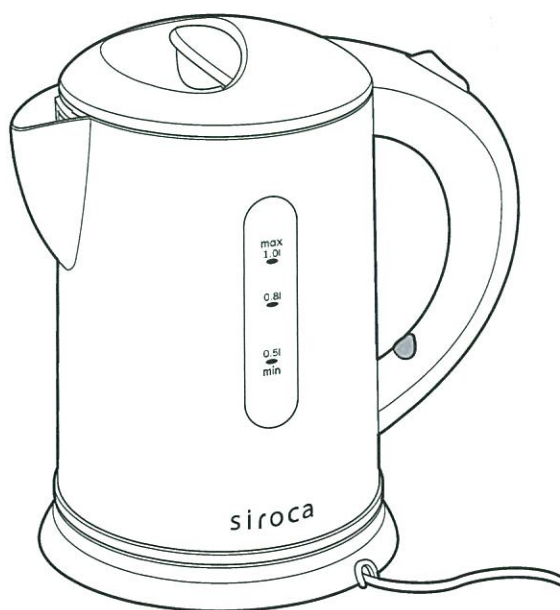
AucSale

siroca 電気ケトル

SEK-100
取扱説明書

このたびは siroca 電気ケトル SEK-100 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになったあとは、手元に置いてご使用ください。

もくじ

お使いになる前に

お湯を沸かす

ご愛用の手引き

この製品は湯沸かし専用です。
保温機能はついていません。

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。ご使用になる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	注意 取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

：禁止（してはいけない内容）を示します。	：強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告

分解禁止

絶対に分解したり修理や改造を行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンター（03-5614-4900）にご相談ください。

禁止

子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・ケガをする恐れがあります。

接触禁止

蒸気口・注ぎ口に触ったり、手や顔を近づけない

やけどをする恐れがあります。特に乳幼児には触れさせないようにご注意ください。

水ぬれ禁止

本体の底部や電源プレートを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

禁止

満水目盛（max）以上の水を入れない

お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがなどの恐れがあります。

禁止

ふたを開けたまま使用しない

湯沸かし中は、ふたを確実に閉めてください。ふたを開けたまま使用するとお湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがない

お湯がふきこぼれて、やけどの恐れがあります。

禁止

本体を傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよくふったり、ふたを持って移動したりしない

お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがなどの恐れがあります。

禁止

本体を転倒させない

お湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁止

電源プレートを落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。

禁止

本体の底部・電源プレートの接続部（金属部）にピンなどの金属片やごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない

火災・熱による変色・変形・故障の原因になります。

禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

湯沸かし以外の目的では使用しないでください。牛乳・紅茶・酒・スープなどを入れて使うと、泡立って内容物がふき出してやけどの恐れがあります。
また、ビンやカップ、レトルトパックなど液体以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。

禁止

氷を入れて保冷用に使わない

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の恐れがあります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を停止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・ケガなどの恐れがあります。
<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする

など

上記のような場合は、すぐに使用を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

⚠警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・ケガをする恐れがあります。

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、熱器具に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む　など

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する

たこ足配線などで他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電・故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火を防ぎます。

電源プラグにほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふき取る

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁状態になり、火災の原因となります。

⚠注意

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因になります。以下のような物の上では使用しないでください。

じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、プラスチックの置台　など

壁や家具の近くで使用しない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使用しない

変形・故障の原因になります。

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

使用中や使用後しばらくは高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。

専用の電源プレート以外は使用しない
電源プレートは他の機器に転用しない

発火・故障の原因になります。

湯沸かし中は、本体を移動しない

お湯が流れ出たり、蒸気に触れてやけどをする恐れがあります。

湯沸かし中は、お湯を注がない

お湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

空だきをしない

水が入っていない状態で通電すると、故障の原因となります。

お手入れは冷えてから行う

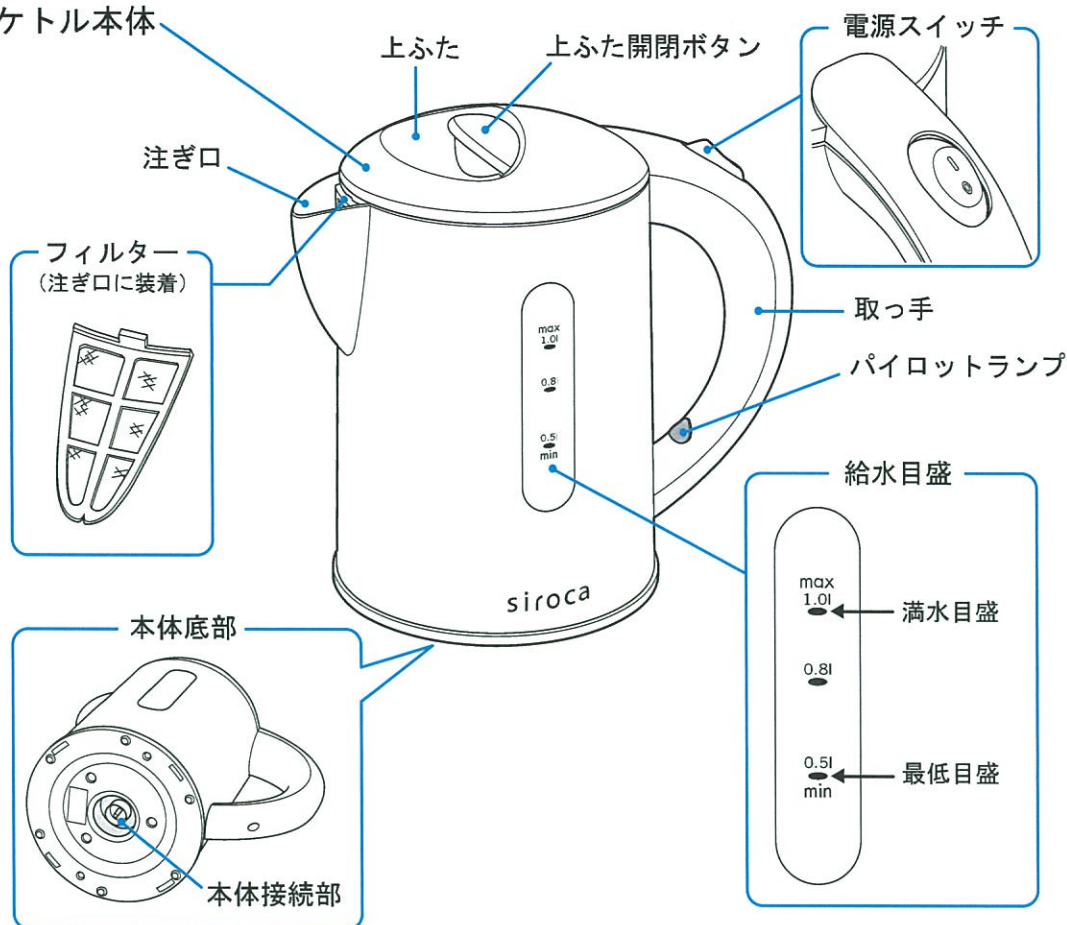
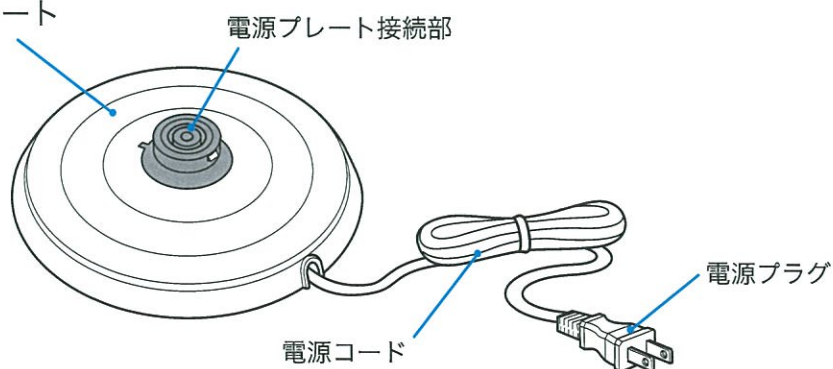
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

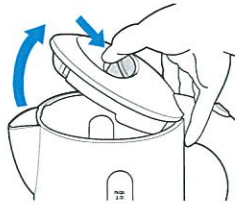
⚠注意

◆本製品は一般家庭用です。
◆本製品は湯沸かし専用にお使いください。水以外のものを入れて使用しないでください。

各部の名称

- 本製品は、ケトル本体と電源プレートのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。
- 空だきをすると、本体内の空だき防止機能が作動して電源スイッチが自動的に切れます。

◆上ふたの開閉◆

開け方

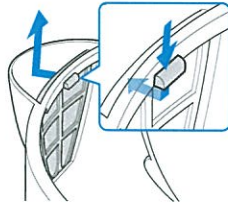
上ふた開閉ボタンに親指をかけ、ボタンを押しながら上ふたを引き上げます。

閉め方

上ふたがカチッと音がするまで、しっかり上から押し込みます。

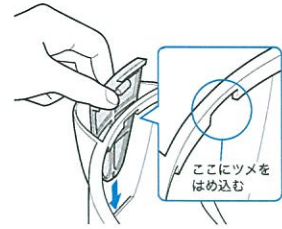
※ 上ふたは真っ直ぐに押し込んでください。斜めにずれた状態で押すと、閉まりきらない恐れがあります。

◆フィルターの取り外し・取り付け◆

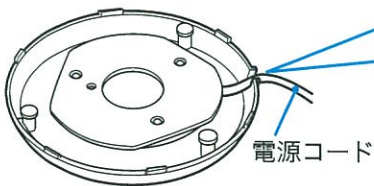
取り外し方

フィルターのツメを押し下げて注ぎ口の結合部から外し、フィルターを本体から引き抜きます。

取り付け方

フィルターを注ぎ口に差し込み、ツメを結合部に合わせてきちんとはめ込みます。

※ お湯を沸かすときは、フィルターがきちんと取り付けられていることを確認してください。フィルターが取り付けられていないと、沸騰しても電源がOFF にならない場合があります。

◆電源コードのセット◆

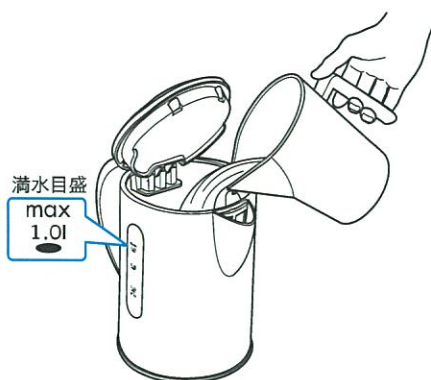
電源コードを電源プレートの切り込みから外に出して、電源プレートをセットします。

※ 電源コードは、電源プレートの底面に巻きつけて収納することができます。

はじめてご使用になる前に

本製品をはじめてご使用になる場合、またはしばらく使用していなかった場合は、本体内部に埃やごみなどが付着している可能性があります。以下の手順で本体内部を洗浄してからご使用ください。

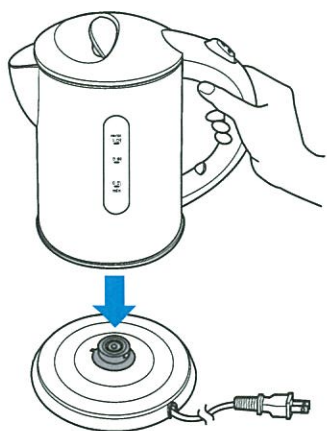
1. 満水目盛（max）まで水を入れ、お湯を沸かす
2. 沸騰したら、いったんお湯を捨てる
3. 水を入れて 1～2 回すすぐ

お湯を沸かす

1. 本体に水を入れる

上ふたを開けて、別容器から本体に水を注ぎ入れます。

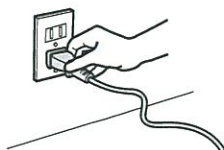
⚠注意

- ◆ 蛇口から直接水を入れないでください。
- ◆ 本体に水を入れるときは、本体に水がかからないように注意してください。
- ◆ 電源プレートに本体を載せた状態のままで水を入れないでください。
- ◆ 流し台などのぬれた場所に置かないでください。底面がぬれて故障の原因となります。
- ◆ 満水目盛（max）以上の水は入れないでください。ふきこぼれる恐れがあります。また、最低目盛（min）より多くの水を入れてください。空だきすると、故障の原因となります。

2. 電源プレートに本体をセットする

上ふたを閉め、本体を電源プレートに正しくセットします。

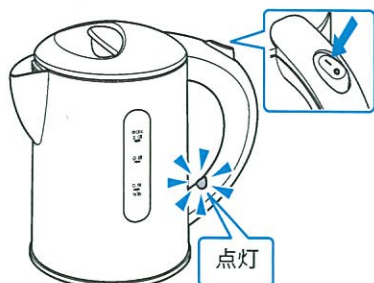
⚠注意

- ◆ 上ふたがきちんと閉まっているのを確認してください。上ふたがきちんと閉まっていないと、お湯が沸いても電源が OFF にならないことがあります。
- ◆ 本体の電源が OFF になっていることを確認してください。
- ◆ 電源プレートは、清潔で平らな場所に置いてください。
- ◆ 本製品に付属の電源プレート以外は使用しないでください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠注意

- ◆ 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因となります。

4. 電源を入れる

取っ手の上部にある電源スイッチの「I」マークのほうを押します。電源が ON になり、湯沸かしが始まります。

※ 電源が ON になると、パイロットランプが点灯します。

⚠注意

◆ 湯沸かし中は、絶対に上ふたを開けたり、蒸気に手や顔を近づけたりしないでください。やけどの恐れがあります。

空だき防止機能について

本体内部に水が入っていない状態で電源を ON にすると、空だき防止機能が作動して、電源が自動的に OFF になります。

湯沸かしを中止したいときは

電源スイッチの「o」のほうを押して電源を OFF にします。

お湯を沸かす

～ 湯沸かしが完了すると… ～

自動的に電源が OFF になり、パイロットランプが消灯します。

沸騰の目安時間	
満水時（1L）	約5分45秒

※沸騰するまでの時間は、水温・室温などによって異なります。

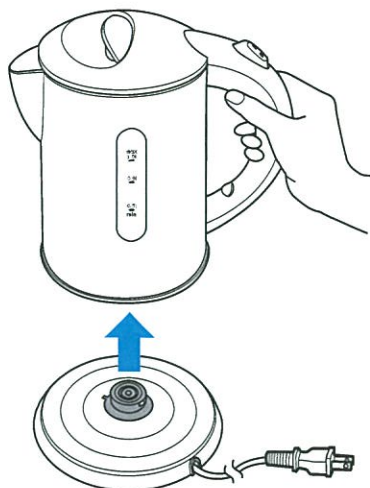
お湯を注ぐ

湯沸かしが完了したら、電源が OFF になっていることを確認して、お湯を注ぎます。

⚠注意

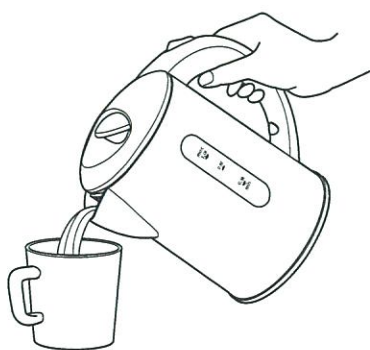
- ◆ 電源が OFF になっていることを確認してから注いでください。
- ◆ 沸騰直後に上ふたを開けないでください。やけどの恐れがあります。
- ◆ 湯沸かし中や沸騰直後は、本体や本体接続部は非常に高温になりますので触らないようにしてください。また、取っ手も熱くなっている可能性がありますのでご注意ください。

1. 電源プレートから本体を外す

取っ手を持って本体を持ち上げ、電源プレートから外します。

⚠注意

- ◆ 必ず、本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

お湯を沸かす

2. お湯を注ぐ

本体を傾けて、カップなどにお湯を注ぎます。

⚠注意

- ◆ 注ぐときは、本体および本体接続部に手を触れないでください。高温になっており、やけどをする恐れがあります。
- ◆ 余ったお湯はすべて捨てて、本体内部にお湯を残さないようにしてください。本体内部の変色やにおいの原因になります。

- ● 使用後しばらくすると、「カチンッ」と音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。
- ● 本製品は蒸気を感知して電源が切れる仕組みになっています。この蒸気が取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

お手入れについて

⚠注意

- ◆ お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ◆ 本体が十分に冷めてからお手入れしてください。やけどの恐れがあります。
- ◆ 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使用しないでください。表面を傷つける原因となります。
- ◆ シンナー・ベンジン・台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。表面を傷つける原因となります。
- ◆ 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しないでください。

本体外部・電源プレート

⚠注意

直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。

● 本体外部・電源プレートのプラスチック部分

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませて
拭き取ってください。

● 本体接続部・電源プレート接続部

乾いたやわらかいふきんで拭きます。

フィルター

フィルターは注ぎ口から取り外して、水洗いします。
よく乾かしてから、本体に取り付けます。
➡ 取り外し方・取り付け方については、p.5「フィルターの取り外し・取り付け」をご覧ください。

本体内部

ご使用いただいているうちに、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が本体内部に付着します。

● 虹色・黒色・乳白色などの変色　● 赤さび状の斑点　● 白い膜状の浮遊物

これは水アカと言われるもので衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

※ ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

● 通常のお手入れ

水でよくすすぎます。その後、自然乾燥でよく乾かしてください。

● クエン酸洗浄（汚れがひどいとき）

1. 水を満水目盛（max）まで入れ、クエン酸（30g 程度）を入れてかき混ぜます。
2. 上フタを閉め、電源スイッチを ON にして沸騰させます。その後、約 2 時間放置します。
3. お湯を捨て、水でよくすすぎます。汚れが残っているときは、やわらかいスポンジでこすり落とします。
4. クエン酸のにおいが気になるときは、水を満水目盛（max）まで入れて再度沸騰させ、お湯を捨て、水でよくすすぎます。

Q&A

質問（Q）	回答（A）
水以外のものを入れてもいいですか?	水以外のものは入れないでください。内容物がふき出してやけどをしたり、故障の原因になります。
お湯は毎日かえないといけないのですか?	1日1回は残り湯を捨てて、新しい水に入れ替えてください。お湯を入れたまま放置すると、水アカ付着の原因になります。

故障かなと思ったら

以下のようなときは、故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。
それでも不具合が解消しない場合は、サポートセンター（03-5614-4900）にご連絡ください。

こんな時は	原　因	対　策
作動しない 電源ランプが点灯しない 沸騰前に止まってしまう	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグをコンセントにきちんと差し込んでください。
	本体が電源プレートに正しく載っていますか?	本体を電源プレートの上に正しく載せてください。
	電源スイッチがOFF（「o」マークが押されている状態）になっていませんか?	電源スイッチをON（「I」マークが押されている状態）にしてください。
	本体接続部および電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか?	いったん電源プラグをコンセントから抜き、本体接続部や電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。
	水が入っていない状態で電源スイッチをONにしていませんか?	水が入っていない状態で空だきすると、空だき防止機能が作動して電源が自動的にOFFになります。 いったん本体を電源プレートから外し、本体の熱を充分に冷ましてから水を入れて、お湯を沸かしてください。
沸騰が止まらない	フィルターを取り外していませんか?	フィルターをきちんと取り付けてください。
	上ふたがきちんと閉まっていますか?	上ふたはカチッと音がするまで真っ直ぐに押し込んで、ずれないようにきちんと閉めてください。
注ぎ口や蒸気孔からお湯がふき出る	満水目盛（max）以上の水を入れていませんか?	水は満水目盛（max）以下にしてください。
お湯が沸くときの音がいつもより大きい	本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか?	水アカなどの汚れがひどくなると、お湯が沸くときの音が大きくなります。クエン酸洗浄を行ってください。
お湯に白い膜状のものが浮遊している 本体内部に赤さび状の斑点や虹色などの変色がある	・ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用していませんか? ・お手入れなしで長期間使用していませんか?	水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。 ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水を使用すると、水アカが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。
お湯を沸かすとプラスチック臭がする	使い始めのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。ご使用とともに少なくなりますが、気になる場合は1~2回湯通ししてからご使用ください。	
取っ手の下から水滴が垂れる	本製品は蒸気を感知して電源が切れる仕組みになっています。この蒸気が取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。	
電源コード・電源プラグ・電源プレートに損傷が見られる 破損してしまった	ただちに使用を中止して、サポートセンター（03-5614-4900）へご連絡ください。	

愛情点検

長年ご使用の電気ケトルの点検を!

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使用上のご注意」を確認してご使用ください。誤った使い方や長年のご使用による熱・湿気・埃などの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっている埃は取り除いてください。

こんな症状はありませんか?
・本体が異常に熱い
・コードや電源プラグが異常に熱い
・焦げ臭いにおいがする
・コードを動かすと、電源が入らないことがある
・その他の異常・故障がある

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。
ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

アフターサービスと保証書

保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
保証書をよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

■ 保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理
保証書の規定により、無料で修理致します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■ 保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理致します。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修用性能部品の最低保有期間

この電気ケトルの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

仕様

品名(型番)	siroca 電気ケトル(SEK-100)		温度ヒューズ	125℃
定格容量	1.0L		電圧	AC100V
本体サイズ	本体のみ	幅211×奥行147×高さ195(約mm)	周波数	50/60Hz
本体重量		550g	消費電力	1000W
本体サイズ	本体+電源プレート	幅211×奥行147×高さ219(約mm)	コード長	約72cm
本体重量		700g	生産国	中国

※ この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。